

TAHITI×JAPON

タヒチと日本をつなぐフリーマガジン[タヒチ×ジャポン]



特集—

人々を魅了してやまない
タヒチアンカルチャーパール

《タヒチのホテル特集》

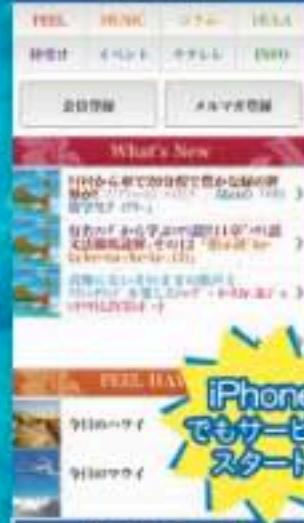
InterContinental Moorea Resort&Spa
インターナショナル モorea・リゾート&スパ

Le Meridien Tahiti
ルメリディアン タヒチ

Fenua

～故郷の伝統を受け継ぐ人々～

8
vol.
Take
Free



大きな画面で迫力アップ!! スマートフォンでアロハサウンド!!

情報も、着信音も、待受も、かかってきた電話にも
全部ハワイアン!! 365日毎日最新情報を配信中!!

① 大画面で迫力アップ!!



LIVEレポートや日々の
ハワイの様子も大画面
画面で迫力アップ!!

② 知ればもっと面白い *



ハワイ語・フラソング解説、
フラ留学生レポート、神話、
スピリチュアルスポットなど
フラLIFEに欠かせないコラム
に今度はレイのコラムも
スタート

③ 画面から感じるハワイ

人気作家、イラストエーテー、フォトグラファー
によるハワイを感じる待受、FLASH版100枚突破!!

④ 鳴らして感じるハワイ

大好きなハワイアンミュージックは3000曲。
200以上のアーティストを配信中!!

Aloha Sound

携帯電話	スマートフォン
サービス中	サービス中
サービス中	New Open!!
サービス中	New Open!!
HawaiianCall	
携帯電話	スマートフォン
サービス中	サービス中
サービス中	サービス中
サービス中	サービス中

HawaiianCall

携帯電話	スマートフォン
サービス中	サービス中
サービス中	サービス中
サービス中	サービス中

携帯からは

<http://www.alohasounds.com> <http://www.hawaiiancall.com>



携帯で感じる 学ぶタヒチ

日本人人気ダンサーKaoru
「タヒチアンダンサーへの道」



タヒチの神話・文化を学ぶ
「タヒチに魅せられて」



着信音もアラームもタヒチアン



au, softbankでもOPEN!! 着うたフルもサービス開始!! <http://www.himenetahiti.com>

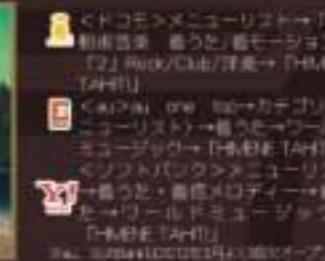
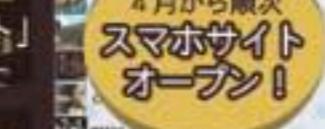
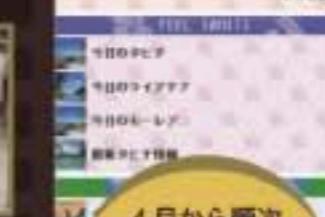
タヒチから届く日常レポート
「今日のタヒチ」「今日のモーレア」「今日のライアテア」

タヒチ在住の日本人の方々から日常のタヒチの様子やイベントの様子などを届け!! まだまだ未知のタヒチ。携帯でいろんな情報を仕入れてみませんか?



今月のタヒチ、タヒチアンダンスを知る「ミスタヒチ2010レポート」

ミスタヒチ2010候補者ヘル・ウィルソン。タヒチアン教室を主宰し創造でも指導する彼女が今月のタヒチのおすすめスポットやタヒチの日常を紹介



au, softbankでもOPEN!! 着うたフルもサービス開始!! <http://www.himenetahiti.com>

Contents

04

特集

人々を魅了してやまないタヒチアンカルチャーパーク

12

タヒチのホテル特集

- ◆ インターコンチネンタル モーレア・リゾート&スパ
- ◆ ルメリディアン タヒチ

20 Fenua～故郷の伝統を受け継ぐ人々～

22 Temaeva(テマエヴァ)

24 Patricia TOKORAGI(パトリシア・トコラギ)

25 Tuarii TRACQUI(トゥアリイ・トラッキ)

26 Tumata ROBINSON(ツマタ・ロビンソン)

Manouche LEHARTEL(マヌーシュ・ルアルテル)



2歳からタヒチアンダンスをはじめ、レ・グラン・パレード、ハイタヒチなどを経て現在タヒチオラの講師として活動中。2006年にはインターベンチネンタルホテルで開催されたビストミニハイツにも選出された経歴を持ち、日本でもワークショップを開催するなどその活躍は現地タヒチにとどまらない。

タヒチと日本をつなぐアリーマゼン (タヒチ・ジャパン)

TAHITIXJAPON

[vol.8] 平成25年4月26日発行

Publisher: 株式会社タヒチプロモーション OFFICE: 神奈川県横浜市神奈川区沢渡3-1 東興ビル2F

STAFF Executive Producer: TORU OISHI Producer: SATOSHI AWASHIMA Art Director: NATSUJI HANAMI

Editor: SATOSHI AWASHIMA / YOSUKE HIRANO / RYUSUKE MURATA / HIDEYUKI SAEKI / JUNICHI ITO / MICHIO ETO / KENSKU TANAKA / EIJI SHIDA

Design: NATSUJI HANAMI Writer: SATOSHI AWASHIMA Translator: RYUSUKE MURATA

協力 ラ・マント・ド・ラ・バール・タヒチ・パリ・マーケット / インターコンチネンタル モーレア・リゾート&スパ / モーレア・ドルフィン・センター / ルメリディアン タヒチ / ル・ココーズ / ノワ・ココ / ラ・ル・ロット / フマタ / マラーン・テマエヴァ / パトリシア・トコラギ / ライナ / TAKAJAWA / TOP DIVE / MaKa / MATArea / アネラウイント / フラハワイ / ハワイアンダイニング ティキティキ / タトースタジオ「ティアレヨコハマ」

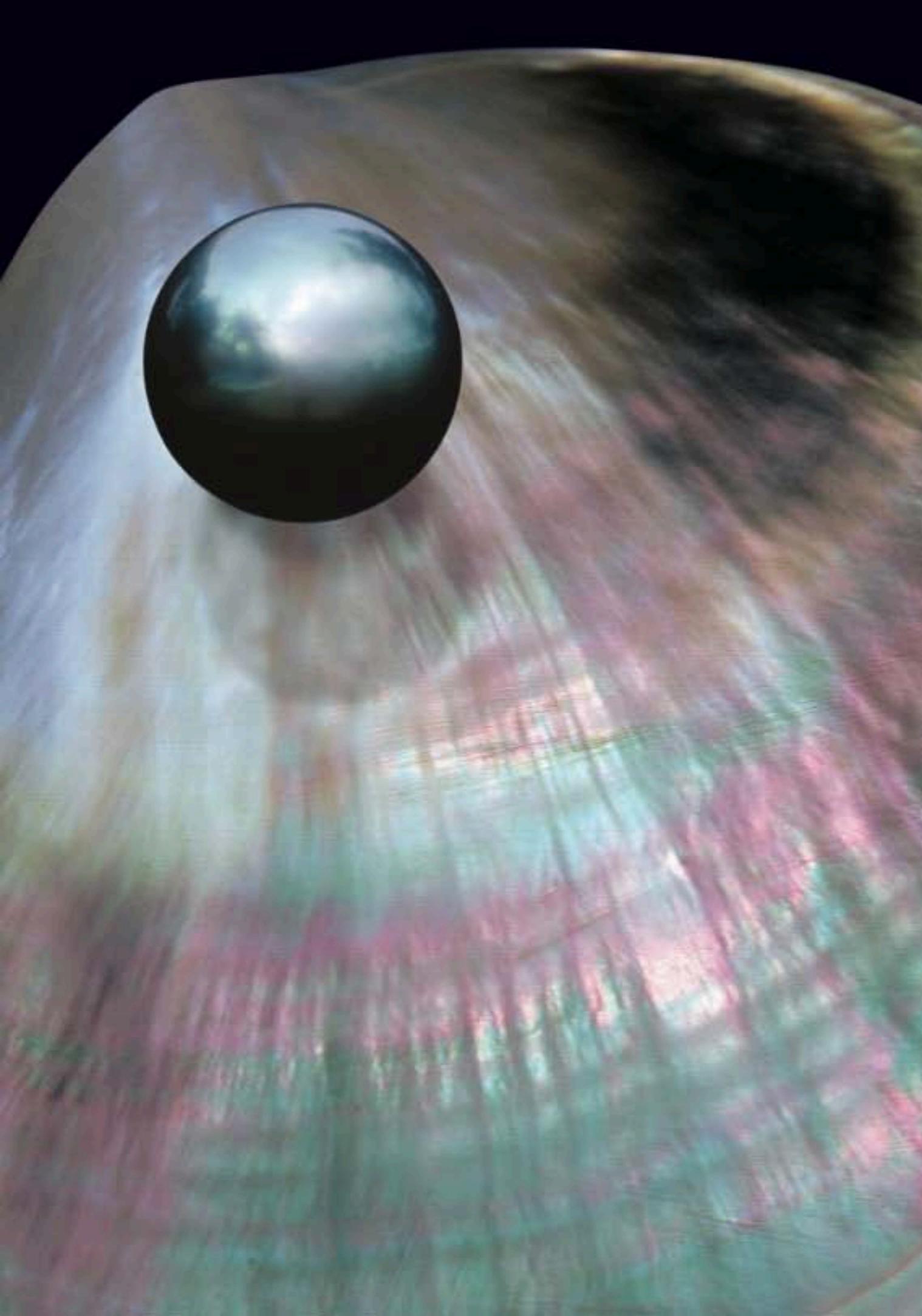
定期配信をご希望の企業・店舗・団体様

タヒチと日本をつなぐアリーマゼン(タヒチ・ジャパン)は、タヒチ(フランス領ポリネシア)の奥地の情報や、日本におけるタヒチ関連情報、イベント、ショッピング情報を掲載しております。定期配信をご希望の企業・店舗・団体様は、下記までお問い合わせ下さい。なお、ご郵送は10部以上からとさせて頂いておりますので予めご了承くださいませ。

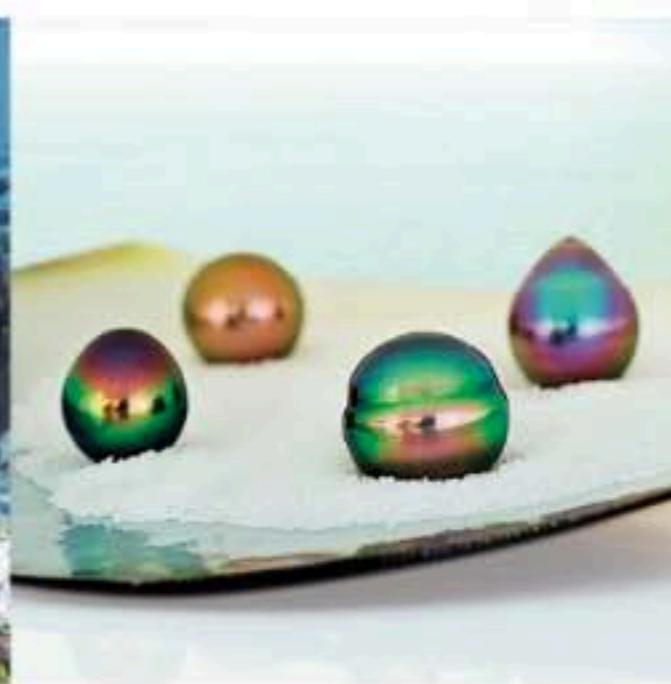
株式会社タヒチプロモーション TEL: 045-321-0693 URL: <http://tahiti.co.jp>



TEL: 045-593-2265
ANELA WINK
<http://www.anelawink.jp>



人々を魅了してやまない 「タヒチアンカルチャーパール」



2つとして同じ色や形がないと言われ、神秘的な色彩と煌きで世界中の女性を虜にする海の宝石「タヒチアンカルチャーパール」。

天然の黒蝶貝から出来る「天然真珠」は幻の真珠と云われるほど希少価値が高く、その美しさのあまり16世紀頃ヨーロッパ人によるタヒチの島々での乱獲によって数が減少していった。だが今や世界市場や普段の生活で見ることが出来るタヒチアンカルチャーパールは、「養殖真珠」という革新的技術でタヒチ唯一の産業にまでその地位を築いた。

1961年、初めてポリネシア産の養殖真珠を生み出すため、アルジェリア人ジャン=マリー・ドマールによって黒蝶貝への挿核施術が行われてから約50年、その当時の苦労と情熱を追った。



ポリネシアの美しいラグーン、日本の真珠養殖技術の高さ、情熱的な探究心が生み出した「タヒチアンカルチャーパール」

タヒチアンカルチャーパールとは

タヒチアンカルチャーパールは南海に棲息し黒蝶貝と呼ばれる幅15cm～20cm程の大きさの一枚貝を使って養殖されているパールを指す。黒蝶貝の棲息する条件は海が汚染されていない南洋の人里離れた潮通しのよい珊瑚礁の内海域が最も適しており、貝を開くと蝶の形に似ていることからこの名が授けられた。貝の表面は褐色だが内面は美しい銀白色で緑や赤色等を含んだ黒色になっており、ここにタヒチアンパール独特の色調を作り出す秘密を垣間見ることが出来る。



◀ ジャン=マリー・ドマール

1927年11月14日生まれのアルジェリア出身。獣医学を学んだ後、フランス海外領省が募集していたタヒチでの真珠貝養殖の専門家募集に応募し採用される。タヒチへの赴任を待つ間、ポリネシアに生息する真珠貝の知識を深め、フランスにてダイビングライセンスも取得。更には真珠養殖に慣れ親しもうと日本に自費留学し、1957年1月から6月まで英虞湾にある御木本氏の養殖場など各地を渡り歩いた。1957年7月14日にフランス海外領省と契約した任務を遂行すべくタヒチへ降り立つ。1961年に日本人の室井忠六氏と黒蝶貝への初の核入れ実験を行った。後10年の間、養殖漁業や真珠養殖、更には農業においても業界の状況を変革させていったタヒチ産業に多大に貢献した人物である。



日本の真珠養殖技術の高さ

1961年、ジャン=マリー・ドマールにはどうしても試みたことがあった。それは黒蝶貝から採れる黒真珠の養殖を実現することである。彼はフランス海外領省が募集していたタヒチでの真珠貝養殖の専門家募集に応募し採用されたのち、タヒチ赴任を待つまでの1957年1月から6月まで英虞湾にある御木本幸吉氏の養殖場で真珠養殖の知識を深めていった。そもそもなぜ日本なのか。それは日本が1893年に世界初のアコヤ真珠の養殖に成功、また、真円真珠の養殖に成功したという各国に先んじた技術を持っていたからである。ジャン=マリー・ドマールが訪ねた御木本氏はその真円真珠の養殖に成功した第一人者であった。



黒蝶真珠の養殖への道筋

日本で多くの知識を得て、1957年7月14日にタヒチに降り立ったジャン=マリー・ドマールは、真珠の生息地保護、黒蝶貝の養殖場の創設、黒蝶貝が生息していない環礁に貝を移植して定着させなど、普段黒蝶貝から採れる黒真珠の養殖を実現するためのプロセスを実行していった。しかし、1961年3月にタヒチ島にて世界で初めて実施された黒蝶貝への挿核は結果的に2度の失敗に終わってしまった。彼はこの失敗で黒蝶貝養殖をフランス領ポリネシアの一大プロジェクトにつなげることは出来なかったが、粘り強い性格から民間のインドシナ銀行からの支援を受けることに成功し、このことがのちの日本人挿核技術者室井忠六氏との出会いにも繋がることとなった。

タヒチの黒蝶真珠養殖産業の確立

ジャン=マリー・ドマールは支援を受ける事になったインドシナ銀行から、東京にある日本パール協会の栗林徳一氏と、オーストラリアを拠点とするパール・プロバティ社(日宝真珠)を紹介された。その後ジャン=マリー・ドマールは栗林氏と書簡であらゆる折衝を重ねていき、ついにオーストラリアで白蝶真珠の養殖を成功させたグラフター(挿核技術者)室井忠六氏を招聘することにこぎつけた。1961年8月、ジャン=マリー・ドマール、彼の作業チーム、室井忠六氏はタヒチのヒクエル島

(ハバーテから640kmのところにある環礁)に訪れた。この地は世界的にも評価の高い環礁であり、黒蝶貝の質や量は核入れ作業に好都合であった。室井忠六氏はヒクエル島で、半円真珠用に268個、真円真珠用に827個、合計1,095個の黒蝶貝に挿核を行った。彼らは貝が自然に口を開いた瞬間に挿核できるようベッドの横に水槽を置くなど、寝る間も惜しんで作業に従事し、最終的に276個の黒真珠を採取する結果に結びつけたのである。その276個の内、235個が日本のパール専門家によって商品化が可能と診断され、「並外れた美しさで、ダイヤモンドを添えて仕立てるに値する」というお墨付きまで得て、その品質の高さからこれらの黒真珠は業界でもトップクラスの真珠専門店や宝飾店にしか陳列してはならないと定められた。こうしてタヒチアンカルチャーパールの歴史は始まり、ハイエンドとなったジャン=マリー・ドマールはその偉業を地元新聞にこう讃えられた。「タヒチアンカルチャーパールが世界中で知られるようになる日が来るとしたら、タヒチはジャン=マリー・ドマールの功績を思い出す事であろう」と、実際、今では世界の黒蝶真珠の95%以上がタヒチで産み出されている。

記事協力:ラ・メゾン・ド・ラ・パール

タヒチ・パール・マーケットがお届けするタヒチアンパール

大冒険の始まり

タヒチアンパールはその素晴らしい色彩で知られています。この宝石の真の美しさは、ツアモツ諸島の自然のままのラグーンや、バラエティーに富んだ母貝、真珠養殖業者の高い技術によって生まれます。タヒチ・パール・マーケットのオーナー、フランク・テハアマタイがタヒチアンパールに魅了されたのは、1994年ツアモツ諸島に出向いた時でした。起業家として鋭い洞察力を持ち、熱血漢であった彼は以後、真珠産業の改革と発展に取り組み、今日ではタヒチ真珠業界の押しも押されぬリーダーの人となりました。



太平洋の宝石



タヒチアンパールのすべてを集めたタヒチ・パール・マーケット

タヒチアンパールに限りない情熱を注ぐフランク・テハアマタイは、いつの日か自分の店舗を持ち、彼の養殖場から毎回浜揚げされる何千個という真珠の魅力を、彼の店を訪れるお客様と分かち合いたいと願っていました。そして実現したのが真珠専門店「タヒチ・パール・マーケット」です。そこでは多数の真珠の中から、お客様お気に入りの真珠と台座をお選びいただき、お客様ご自身のオリジナル・ジュエリーをお創りするという新しいコンセプトを打ち出しました。ご来店のお客様のために、よりエレガントで、よりシックなジュエリーを提供できるよう「タヒチ・パール・マーケット」のスタッフがお手伝い致します。ぜひ一度、タヒチ、ボラボラ、タハア、あるいはまたハワイにある「タヒチ・パール・マーケット」で、太平洋の宝石と呼ばれるタヒチアンパールの不思議な魅力との出会いを体験してみてください。



保証とアフターサービス

「タヒチ・パール・マーケット」で販売されておりますタヒチアンパールは、すべてタヒチ原産証明書付きでございます。また、当店で古めい上げただきましたすべてのタヒチアンパールに対し生涯保証を致します。米国、ヨーロッパには顧客サービスもございます。

TAHITI

• 25, rue Colette, Papeete
Phone : (689) 54 30 60
• 349 Boulevard Pomare
Phone : (689) 42 43 62

TAHAA

• Tahaa Island Resort & Spa
Phone : (689) 60 84 60

BORA BORA

• Vaiava, Phone : (689) 90 59 00
• Sofitel Marara, Phone : (689) 67 80 37
• Le Meridien, Phone : (689) 61 51 00

RANGIROA

• Hotel Kia Ora, Phone : (689) 90 02 22
CALL FOR COMPLEMENTARY SHUTTLE
OPEN DAILY : 09:00 AM to 6:00 PM

Best of Pearls

TAHITI
Le Meilleur

VISA
MasterCard
JCB
American Express
Discover
Diners Club

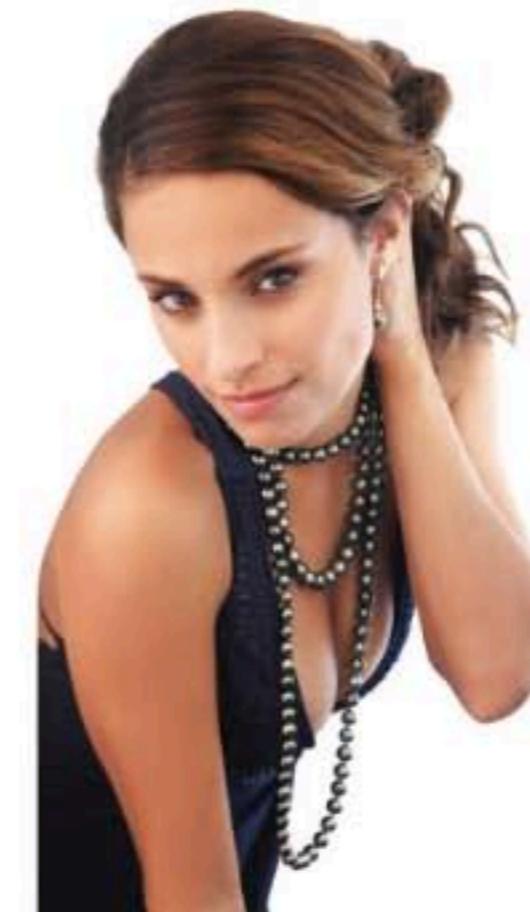


DUTY FREE

TAHITI collection



RAINBOW strand



タヒチアンパール・ストランド・ネックレス は、それを着ける人の年齢を問わず、洗練された気品、豊かなゴージャス感をかもし出します。今日このストランド・ネックレスは、円形真珠以外にも各種異なったタイプの真珠が用いられ、どんな服装スタイルにもマッチするようになりました。ダーク・グリーンの短めのチョッカーフrom、パロック形の長めのソトワールまで、自分のスタイルに完璧にマッチするストランド・ネックレスを見つけるまでには時間がかかり、忍耐力も必要ですが、お客様のご要望に限られた時間内でお答えできるよう「タヒチ・パール・マーケット」のアドバイザーがアシスト致します。

Monoï de Tahiti

安心できる
成分ラベル
日本語表記

【モノイ・ドゥ・タヒチ】
Monoï de Tahiti

UVケアが行き届きにくい髪。モノイオイルは、その乾いた髪に数多
なじませるだけでも補修と保護する効果があります。タヒチの女性
の髪の習慣から、赤ちゃんのスキンケア・妊娠のお腹のケア、サンケ
アなど、肌を優しいペールで包み素早く保湿してくれます。

【監修者】
ティアレ・モリモリコトナウ・オーランド・コロカルダ

制作人担当
Heiva

Patitifa TAHITI

Heiva社 日本正規代理店 Mico Tahiti 日本正規販売店

タヒチアンが
認めた
人気ブランド

Mico Tahiti

タヒチの首都パペーテで「Mico Tahiti」を営む、タヒチを代表するデ
ザイナー、マリー・ノエルさん(通称micoさん)。
斬新なデザイン、鮮やかな色使いから数多くのバレオを生み出し、
2012年ミスマスターの衣装制作も手がけるほどの持ち主。日本でもタ
ヒチアンダンサーを始めフラ舞界、一般の方々へと年々彼女の知名
度は広まりつつある。

タヒチアンショップ
「パティティファタヒチ」

**Patitifa
TAHITI**

お問い合わせ
Tel:045-321-0693
Fax:045-321-0624
045-321-0644
神奈川県横浜市神奈川区汎洋3丁目東横ビル3F

<http://tahiti.co.jp>

パティティファタヒチ 検索

Tahiti Festa 2013

名古屋 5/19 札幌 5/26 横浜 6/12 お台場 9/14-16 全会場 入場無料

東京お台場で16万人を動員したタヒチフェスタが規模とエリアを拡大して、開催地にお台場、横浜、名古屋、札幌の4会場で開催決定！

入場無料で大人から子供まで楽しめるオンラインタヒチのイベントを開催！ご来場をお待ちしております。

Air Tahiti Nui

【内容】Ori Tahiti(タヒチアンダンス)、Marche(物販)、Tamarii(子供コンテンツ)

主催:タヒチプロモーション 後援:エアタヒチ・アイ、タヒチ観光局

お問い合わせ info@tahiti.co.jp <http://tahiti.co.jp/tahitifesta> 045-321-0693 (平日10:00~20:00)



Inter
Continental
Moorea Resort & Spa

インターリンピック
モーレア・リゾート&スパ

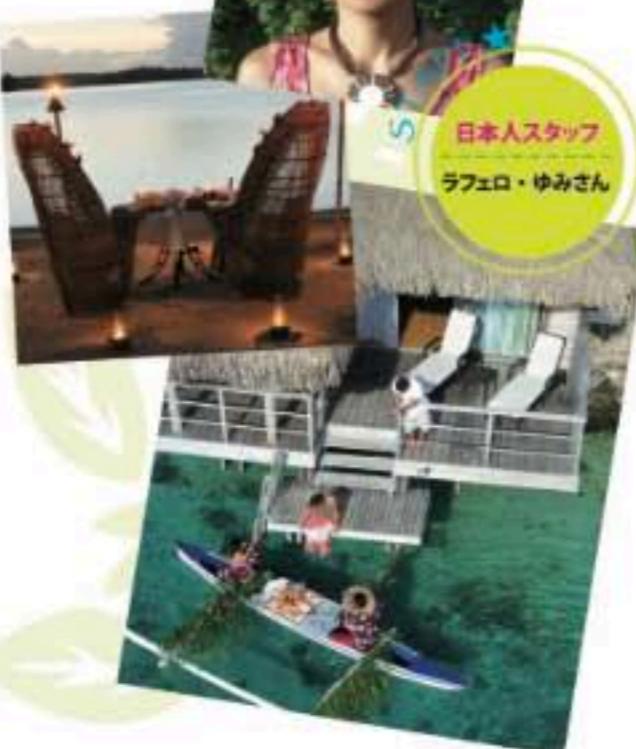
タヒチのホテル特集 | InterContinental Moorea Resort & Spa [インターリンピック モーレア・リゾート&スパ]



■住所 B.P.1019,Tahora
■電話 55.19.19
■予約は東京予約センター(0120-455-655)まで。
■お問い合わせ moorea@interconti.pf ■HP www.moorea.intercontinental.com

日本人が思い浮かべるタヒチの風景を
余すことなく体感出来るホテル

エメラルドグリーンのラグーン・壮大な山々・深緑・ココナツの木・水上バンガロー・・・。日本人がタヒチと聞いて思い浮かべる風景がこのホテルには惜しみなく詰まっている。2010年7月リニューアルオープンし、客室数は144室とモーレア島では最大の規模。水上バンガローは50棟もあり、緑も楽しめて各所にビーチがあるコンセプトは、他のタヒチの水上バンガローとは異なる強みになっている。もちろんここでしか体験出来ないマリンアクティビティーなどレジャー施設も充実している他、ホテル内を歩いていると環境保護を理解してもらうための施設、ウミガメのケアセンター(※ケガしたウミガメを治療や、はぐれてしまった産まれたばかりの子ガメの保護等)や、開放的な造りのエレン・スパなども見受けられ、滞在者は満喫した時間を過ごせることができる。ホテルにはフランスのコンシェルジュ組織「クレドール(Cled'or)」の資格を持つ日本人スタッフのラフェロ・ゆみさんもおり、密に他島のスタッフと連絡を取り合い、お客様の好みや気を付けるポイントを共有してお客様に最大限の還元を徹底している。簡単な日本語を話せるスタッフもあり、常にお客様の居心地の良さを追求しているケオリティの高いホテルである。



日本人スタッフ
ラフェロ・ゆみさん

イルカの生態を知り、イルカと共に一生の思い出作り

責任者: サルヴァトーレ・ムラさん

MOOREA DOLPHIN CENTER

モーレア・ドルフィン・センター
Tel: (689) 56.19.48
URL: www.mooreadolphincenter.com

インターリンピック モーレア・リゾート&スパにおいて日本人に大好評なのが「モーレア・ドルフィン・センター」。温かで好奇心が強く、利口なイルカは日本においても人気だが、この施設ではイルカについての雑学から、イルカに触れながらより身近にその生態を学ぶことが出来る。また、地元の子供たちから外部の幼稚園や小学生達が環境についての勉強が出来る環境保護施設でもある。そのインフォメーションも兼ねたプログラムも組み込まれている。カップル向けのロマンス・カップルプログラムでは、1時間のうち30分はジャンプを見たりイルカに触ったりしながら生態を学び、残りの30分は浅瀬や少し深い所でイルカと触れ合うことが出来る。(※花冠と写真付)さらに、イルカを抱えて一緒に潜ってイルカの力強さを感じられるプロ

グラムなどもあり、ラグーンの一部を利用し自然に近い環境のプールの中でイルカと共に一生の思い出を作れるあらゆる施策が取り組まれている。

モーレア・ドルフィン・センター責任者
《サルヴァトーレ・ムラ》
1984年にここは設立し、1997年にハワイから2頭イルカを呼び、トレーニングを始めました。ドルフィンクエスト(※ドルフィンセンターは元ハワードルフィンクエスト系列)がこの場所を選んで始めたのもラグーンや新緑に恵まれた立地条件が重なったからだと聞いています。私自身は2000年からドルフィンセンターの責任者を任されているのですが、トレーニングでイルカ達に少しづつジャンプやスパイクなどを教え、それが出来るようになって

いたときの感動は何事にも変えられません。年数を重ねるにつれ様々なお客様にお越し頂けるようになりましたが、我々は当初の考え方から変わらず、まずイルカと共に本当に楽しんで貰うことが一番だと思っています。その上でイルカの生態を学んでもらえれば幸いです。そのためにも我々も日本人の方々のフィーリングに合ふようになるべく日本語で説明し、楽しんでもらえるよう心掛けています。正直、言葉の壁があるので全てを伝えられず残念ですが、日本の方々はリアクションがとっても良いのでここにいるスタッフはみんな日本人が大好きです!是非モーレアに来る機会があればお越し下さい♪

Le Meridien Tahiti

ルメリディアンタヒチ



タヒチのホテル特集 | Le Meridien Tahiti [ル・メリディアン・タヒチ]

Le MERIDIEN

■住所 8.P.380595 Tamanu,Punaauia
■電話 47.07.07
■予約はルメリディアンタヒチホテル予約センター(0120-094-040)まで。
■HP www.lemeridientahiti.com

日本人スタッフ
岡宗 朱里さん

タヒチ博物館そばのホワイトサンドビーチに建てられた高級ホテル「ル・メリディアン・タヒチ」。

ホテルのエントランスから眺める美しいラグーンや夕焼けは爽快で、私達を異空間へといざなう。ロビーはモダンなインテリア・ファブリックがアクセントになっており、ホテルの客室は48m²のゆったりとした広さに加えデザインもスタイリッシュな室内になっている高級ホテルである。市街地より少し離れてはいるが、ホテルすぐ近くにショッピングセンター、タヒチ博物館、植物園があり、ホテル内ではテニス、ビーチバレー、卓球、カヤックなど無料で体験ができる。さらにはヨガ(週4回)、アクアバイク(週6-12回)も無料で開催されているので、市街地に出かけなくても充分タヒチライフを満喫出来るホテルになっている。

※市街地に出かける際はバベーテとル・メリディアン・タヒチ同を結ぶ宿泊客専用シャトルバスが1日に1~4本走っているので便利。



Le MERIDIEN



オススメ①

レストランの有名シェフが料理やスイーツ教室を開催! フレンチベースにポリネシア色を加えた創造性豊かな料理の料理体験が出来ます。

【概要】
・1週間に3回ほど実施
・1回あたり約5500CFP

(※料理後はシェフと作った料理と一緒に食事)

オススメ②

1998年にOPENし2011年に改修したル・メリディアン・タヒチの特徴である「ラトリエ」。ギャラリー兼ワークショップ場ともいえる空間は日本人やタヒチ在住フランス人など世界から集まっている。このラトリエへの入居条件としては、現地タヒチに住んでいること、もしくは海外からの方は2カ月以上タヒチに残れることが条件である。制作中のアーティストにも会え、将来の有名作家候補の作品も購入することができる。チェック。

※アートを学べるレクチャーやワークショップも随時開催中。

オススメ③

P26-27で紹介するOri Tahiti Nui Solo Competition2013の会場でもあり、11月30日(土)、12月1日(日)に第2回大会が実施されることが既に決まっている。



Restaurant LE COCO's



パティシエ:ベネディクトさん

日本語メニューもご用意しております

ランチ
火曜日～日曜日 11:45～14:00
5400XPF(前菜+メイン、もしくはメイン+デザート)
6900XPF(前菜+メイン+デザート)

ディナー
火曜日～土曜日 17:30～22:00 【コース】
●アカルト 普段 3850XPF → 9950XPF Menu Touristique
●メイン 4850XPF → 14950XPF Menu Dégustation
●デザート 2350XPF～

タヒチ島では数少ない現地の食材を活かした
ガストロノミックなレストラン
Le Coco's (ル・ココーズ)

タヒチの食材と料理という芸術の共演が味覚に新たな刺激を与えてくれる。2008年からソムリエのThierry SAUVAGE(ティエリ・ソヴァージュ)とパティシエのBénédicte MASSONNET(ベネディクト・マッソン)が共同経営し、シェフの確かな腕と、モレア島を正面から見渡すことのできる絶景で高い評価を得ている。タヒチらしさが散りばめられた庭で楽しめる見た目にも美しい料理の数々。繊細な味、色彩の豊かさ、非の打ち所のないサービスは、まさにガストロノミーの世界である。ティエリがソムリエとして、シェフの作品にワインのマリアージュで見事に応えてみせれば、ベネディクトは女性の感性を活かしながらタヒチをイメージしたかわいらしいデザートでゲストをおもてなし。Le Coco'sのスタッフは想像力に溢れ、最先端にいるためであれば決して努力を惜しまない。独白色を出すことを恐れず、タヒチの料理を進化させ、私たちに素晴らしい驚きを与えてくれるお店である。

■Web: www.lecocostahiti.com
■住所: PK 13,200
Punaauia 98703,
French Polynesia
■手番:
電話 6898 582 108
メール lecoco@nsid.jp

■Web: www.noixdecoco.com
■住所: PK 12 Punaauia 98703,
French Polynesia

ルメリディアン・タヒチからすぐのお店

Restaurant NOIX DE COCO



■営業時間: 水曜日～日曜日
18:30～22:00
■電話: 45 28 28
■住所: PK 12 Punaauia Côte mer à côté du magasin Week End

このルロットを知っていれば、あなたもタヒチ通!?

タヒチ島西部のPK12に位置するNoix de Coco(ノワ・ド・ココ)。

料理の質の高さ、ボワソン・クリュの種類の豊富さに加え、サシミ、タルタルといったタヒチの定番料理。そして、カルバッচのカレー風味やココナツ風味、マグロの炙りなど、Noix de Cocoのオリジナルメニューも楽しめることができる。また、ルロットではおなじみのビーフステーキ、マグレ・ド・カナール、マヒマヒなどの魚のソテー、海老のカレー、海鮮串焼きなども外せない。飲酒が認められていない大衆ルロットとは異なり、Noix de Cocoではアルコールを楽しみながらタヒチ料理に舌鼓を打てるのも楽しみの1つである。

タヒチアン
注目のお店

Restaurant LA ROULOTTE



■営業時間: 火曜日～日曜日
17:30～23:00
■電話: 77 98 74
■住所: Place Vaitea

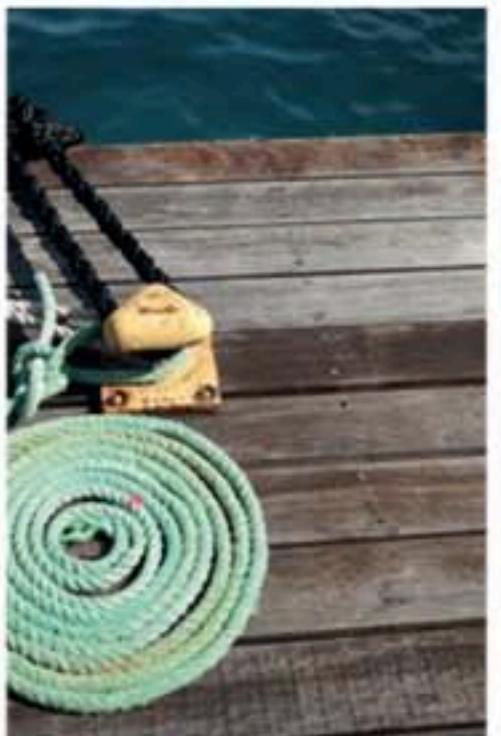
タヒチオラ講師ライナがオススメするルロットの中の「ラ・ルロット」!

ヴァイエテ広場は数多くのルロットが軒を連ねている。その中でも地元住民から圧倒的な支持を得ているのが「ラ・ルロット」。タルタル(タヒチ屋マグロのマリネ)、ショーフロワ(マグロの炙り)など新鮮なマグロ料理を手頃な価格で味わうことができ、中でもオススメは「Tartare à l'avocat」(タルタル・ア・ラボカ)。新鮮なマグロ、エビ、そしてアボカドをオリーブオイルや塩コショウなどでマリネした日本人好みの1品である。すっかり日本でお馴染みとなったタヒチオラのモエナ・マイオトウイや弊誌今号の表紙を飾ってくれたライナ・テフィオトアも声を揃えてこの料理をお気に入りだと教えてくれた。タヒチアンと相席しながらタヒチ料理を味わうことのできる「ラ・ルロット」は、是非立ち寄ってみたい1軒である。

MaiKai BORA BORA

MARINA & YACHT CLUB
RESTAURANT - BAR - LIVE MUSIC

facebook twitter



HIGHLY RECOMMENDED ON

tripadvisor®

RESERVATIONS TEL.: +689 603 800 - info@maikaimarina.com - WWW.MAIKAIMARINA.COM



HAWAIIAN DINING

TIKI TIKI

HAWAIIAN DINING

各種発表会など
会場にどうぞ!!

ハワイアンカルチャースクール
フラハラウ・ハワイアンバンドの皆様へ
各種発表会、フラパーティなどの会場にどうぞ!!

音響設備設置料無料、DVD・CD・MDプレイヤー完備
スクリーン、マイク等、各種室料無料
他、DVD・CD・MD、機材等の持ち込みも自由です。
是非、下見にご来店ください。その他、お気軽にお相談ください

**一杯でリゾート!
ALOHA TIKITIKI
店内に入ればそこはもうハワイ!!**

「癒しのハワイ」をコンセプトにしたテーマダイニング
南国情緒たっぷりの店内で見るフラ&タヒチアンダンスショーと
色鮮やかなトロピカルカクテルの数々。
ティキティキは一杯でリゾート気分に浸れる本格的リゾートダイニングです。

コピカルドリンクは
20種類以上ご用意!

ティキティキ 横浜店

Tel. 045-312-3397

平日営業受付 12:00~

神奈川県横浜市神奈川区高島町2-17-1
相模若狭学園ビルB1F

[営業時間] 月~土 17:00~23:30(金・土24:00)
日・祝 16:00~23:00(土・祝24:00)

[定休日] 年中無休(12/31~1/3は休業)

<http://r.gnavi.co.jp/g851564/>

ご予約受付中

料金コースは2,000円から
ご用意。飲み放題をご用意して
おります。飲み放題コース
ご用意。本格的コースを
ご用意しております。

ティキティキ 新宿店

Tel. 03-3226-0996

平日営業受付 12:00~

東京都新宿区新宿3-4-6
京王フレンチ新宿3丁目 4F

[営業時間] 17:00~23:30
[定休日] 年末年始2月~8月のビリ休除

<http://r.gnavi.co.jp/g068224/>

ご予約受付中

料金コースは2,000円から
ご用意。飲み放題をご用意して
おります。飲み放題コース
ご用意。本格的コースを
ご用意しております。

TIKI TIKI

お得な
店舗共通クーポン

20% OFF

さるに 月・火曜日なら
ドリンク1杯プレゼント

ご内にてお食事された方対象。
*料酒との併用不可。
*ディナータイムのみ対象。
*1グループ4名様。
*料金上乗￥5,250

有効期間: 2014年4月30日



Fenua

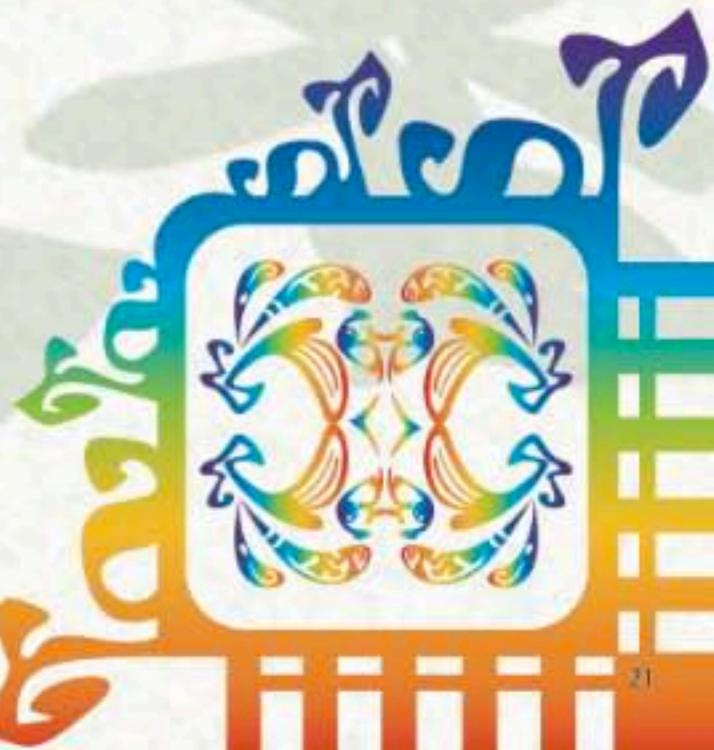
~故郷の伝統を受け継ぐ人々~

タヒチの文化の象徴とも言える「タヒチアンダンス」。

かつて19世紀に入り、人々はキリスト教への改宗にともない歌やダンスと言った伝統芸能が禁止され日常生活からその姿を消した時代もあった中、伝統を継承し今も色濃く文化の象徴であり続けるタヒチアンダンスは、現地タヒチに留まらずフランス、日本、アメリカといった世界に対して輝きと文化を発信し続けている。

そんなタヒチアンダンスの中でも最大の祭典「Heiva I TAHITI」も2012年に130回目を迎えた。記念の大会において昔より参加し今なお輝き続けるグループや、今後タヒチアンダンスを背負っていく者達の背中を追った。

◆Fenua(フェヌア)とは、タヒチ語で『故郷』という意味。





Temaeva
テマエヴァ
タヒチアンダンスグループ

Femme ~故郷の伝統を受け継ぐ人々~

Temaeva

テマエヴァ

タヒチアンダンスグループ

タヒチアンダンスは我々だけのものでなく、みんなのもの —Coco HOTAHOTA(ココ ホタホタ)

初めて日本でタヒチアンダンスを踊ったグループであり、2012年には結成して50年となったタヒチで最も伝統のあるグループ。そんなTemaevaをまとめるリーダーの「ココ ホタホタ」がインタビューに応じてくれた。

—この度はグループ創設50周年、誠におめでとうございます!

ありがとうございます。創設時は女性ダンサー6名、男性ダンサー4名、ミュージシャン6名という構成でしたが、多いときで300名、現在も約150名いるメンバーを見ると歴史を感じますね。

—50年でグループが大きくなった理由とは?

一時期タヒチアンダンスは専横的すぎるという理由から禁止されていた時代があり、あまりよく思われていませんでした。その時代が過ぎ、タヒチアンダンスの開かれた時代がやってきて親たちは子どもたちをダンスグループに入れ、踊りを習わせるようになったのです。祖国や伝統に対する愛をダ

ンスに捧げるといった意味合いではなく、ダンスがひとつ流行となっていきました。我々はそこから約30年トップに君臨しつづけ、我々を倒そうというグループ連と切磋琢磨してきたからこそ今があると思います。

—過去と現在のタヒチアンダンスで変化はあったのでしょうか?

少しは変わったと思います。諸外国からの影響というのはやはり受けていると思いますね。新しいものを見つけることのほうが、すでに存在している自分たちの伝統から何かを見つけ出すことよりも簡単です。しかし、それでも私は私のダンスを貫きたいのです。例えば、Farereia'a(Heiva i TAHITIの

後に行われる外国人によるタヒチアンダンスの大會)で、日本人のダンサーも参加しているのを見て、本当に素晴らしいと思いました。ただ、素晴らしいのですが、それは私が見ているタヒチアンダンスの視点とは違います。日本のダンサーの方をとてもリスペクトしていますが、彼女たちのダンスは、彼女たちの視点で見たタヒチアンダンスを踊っているわけです。確かに彼女たちの踊りを見て綺麗だとは思いますが、それを真似しようとは思いません。タヒチの伝統を重んじることが私が教えてもらったダンスであり、私が教えるダンスなのです。



—チーム創設50周年を経て今後の目標とは?

タヒチ特有の伝統を継承していきたいと思っています。まずはミュージシャンの育成ですが、過去に頭、膝、肘を使いこなし、太鼓を叩くことができるミュージシャンがいました。それこそが眞のタヒチアンドラマーなのです。最後にその技術を使いこなすことが出来たミュージシャンはすでに亡くなってしまったのですが、当時撮影した映像が残っているので、それをいま教えているミュージシャンに見せながら練習させているところです。すべてを体に染み込ませるには相当の時間が掛かりますが、それでも少しずつ成長している姿が見受けられます。もう一つはタイリバウモトウというギターの弾き方があり、そのギターの弾き方をタヒチのナショナルギター・テクニックにしたいと考えています。先程も話したように、タヒチアンは外国の文化に手を付けたがる傾向にあります。例えばこ

れまでは、ハワイ、フィジー、トンガなどのテクニックの影響をかなり受けました。したがってタヒチ特有のギター・テクニックが薄れている傾向にあります。しかし私は、外国人には真似のできない技術こそタイリバウモトウというギターの弾き方であると思っているので、現代の子達に「古いのではなく昔こそが良い!」という考え方を継承していくと思っています。

—最後に日本人ダンサーについての印象を教えてください。

Farereia'aに参加したある日本人グループを見ましたが、単隊を見ているかのような印象を受けました。体系化されすぎて、すべての振付を十分狂わずに演じたいのかなという印象です。もちろん、見ていて面白いとは思いました。元々タヒチの人々は規律を守ろうという考えが薄いところがあるの

ですが、そういった部分が逆に演技の中でも魅力的に映ったりするわけです。例えば衣装を見ても、日本人の衣装は誰もが皆、同じ形、同じ縫い方の衣装を着ています。もちろん私のダンサーにも「ティバニエの髪飾りを用意しなさい」という指示は出しますが、その中で花びらを付ける位置を変えてみたり、髪飾りの付け方を個人個人アレンジして着飾るところに魅力があるわけです。これは日本人だけでなく、諸外国にもこのような傾向は見受けられます。ただ、タヒチアンダンスは我々だけのものではなく、みんなのものなのです。だからこそ、それが個性を出しながらダンスに取り組んでもらえればいいと思っています。





**Patricia
TOKORAGI**
パトリシア・トコラギ
タヒチアンダンサー

2012年タヒチ最大の祭典「ヘイヴァ・イ・タヒチ」 —最優秀女性ダンサー賞を獲得



11歳からダンススクール「Orirau」でタヒチアンダンスを習い始めたパトリシア。彼女はOrirauの主宰であるダドウ・ハイエを師と仰ぎ、タヒチアンダンスのステップや動きの基本を学び続け、1998年にはココ・ホタホタ主宰のダンスグループ「Temaeva」で活動を開始し、世界各国のツアーやタヒチのリゾートホテルにおけるダンスショーに参加。タヒチアンダンスのモダン化が主流にある中で、伝統を重んじる彼女は、アバリマやオテアを通してダンスの素晴らしさを訴え続けており、彼女の優雅な振付はダンス業界でも注目されている。そんな彼女がBEST OF HEIVA2012後にインタビューに応じてくれた。

—Heiva I TAHITI2012において最優秀女性ダンサー賞おめでとうございます!最優秀女性ダンサーに選ばれた要因をご自身で分析するといいかがですか?

ありがとうございます!元々自分の中ではFavapuとTifeneに自信を持っています。腰を回転させ、しゃがんだ状態で足に回せ、再度立ち上がり回転させるという動きに関しては得意です。Tifeneはソロダンスの技術における必須事項だったので、他のダンサーはしゃがんでいる状態が短かったり、立ち上がっている状態からしゃがむという一連の動作の中で腰をうまく回転出来ない場面が多かったように思いました。今回審査員の方から評価して頂いた内の一つにはそれが挙げられると思います。他には演技の中で見せるテーマ「五感」に付随する優雅な動き、表現力も強みの一つだったと思います。また、私は最優秀女性ダンサーに選ばれる以前より、Temaevaの女性ダンサーのリーダーを務めており、マリオン(Temaevaの振付師)と一緒に仕事をしているのですが、彼女はもともとクラシックダンスの講師なので、私が彼女の振付をタヒチアンミュージックに適応させる作業もしていました。そして、彼女と一緒に仕事が出来るということは非常に

喜んでおり、彼女が求めるものを形にしていく意図と今回の賞につながったと思っています。

—最優秀女性ダンサー賞を受賞した後の新たな目標はありますか?

実は、2012年のHeiva I TAHITI2012を前にダンスを止めようと思っていた。Heiva I TAHITI2012の後は家族との時間を増やして、Temaevaの活動からは離れ、TemaevaがHeiva I TAHITIに参加する時だけ、グループで踊らせてもらおうかと思っていました。ただ、今回このような賞を頂き、周りからは「ダンススクールを間諜してみたら?」などという声も多く寄せられるのですが、小さい頃は母親のように、祖母のように、あるいは上手な友達のように、もっともっと踊れるようになりたいと思い続けていました。

—最後にタヒチアンダンスを踊る日本の方にメッセージを頂けますでしょうか?

一緒にタヒチアンダンスを楽しみましょう!異文化を吸収するということはとても難しいことです。路頭に迷うこともあるかと思います。それでもタヒチアンダンスを練習しようしてくれる姿勢は有難いですし、これからも是非続けて頂き、いつか共に踊ればと思います!

—Temaevaの女性ダンサーのリーダーを務めていると

いう話がありましたか、実際まとめるうえで日々どうなことを意識されていますか?

規律を守る日本人の方と、割と自由なタヒチアンでは求められるリーダー像は異なるかもしれません。ただ、私はなるべく、根気強くメンバーに向かい合おうと思っています。例えば、技術的な課題があるメンバーがいれば、できるようになるまで気長に指導することでしょう。ゆっくりと教えて練習を重ねることで必ず上達できるものです。

—パトリシアさんにとってタヒチアンダンスとは?

タヒチアンダンスは私の「情熱」ですね。パトリシアという少女の夢でもありました。小さい頃は母親のように、祖母のように、あるいは上手な友達のように、もっともっと踊れるようになりたいと思い続けていました。

—最後にタヒチアンダンスを踊る日本の方にメッセージを頂けますでしょうか?

一緒にタヒチアンダンスを楽しみましょう!異文化を吸収するということはとても難しいことです。路頭に迷うこともあるかと思います。それでもタヒチアンダンスを練習しようしてくれる姿勢は有難いですし、これからも是非続けて頂き、いつか共に踊ればと思います!



**Tuarii
TRACQUI**
トゥアリィ・トラッキ
タヒチアンダンサー

2012年タヒチ最大の祭典「ヘイヴァ・イ・タヒチ」 —最優秀男性ダンサー賞を獲得



Ori Tahiti協会の会長でもあり、母親でもあるマヌーシュ・ルアルテルのグループ「Toareva」にて15歳のときにタヒチアンダンスを習い始めたトゥアリィ。それまではダンスに全く興味がなく、半ば強引に参加させられたタヒチアンダンスにてその才能を開花。1回体験しただけでその魅力に惹きこまれていき、Heiva I TAHITI5回目の参加で最優秀男性ダンサーに選出された。彼はダンスにおいて伝統を重んじるだけではなく、伝統と基本に忠実に、いかにもモダンと融合させるかもベースにしており、彼のダンスは速さや力強さに加え、良恵も漂い、表現力がずば抜けているとダンス業界でも評価されている。そんな彼がHeiva I TAHITI2012後にインタビューに応じてくれた。

—Heiva I TAHITI2012最優秀男性ダンサー賞おめでとうございます!ご自身のダンスの特徴について教えて頂けますか?

ありがとうございます!観客の皆さんに、気持ちがあるメンバーがいれば、できるようになるまで気長に指導することでしょう。ゆっくりと教えて練習を重ねることで必ず上達できるものです。

—今後の目標は?

ダンスに限らず、海外をもっと旅行したいと思っています。違う文化をもっと吸収したいですし、異文化にはすごく興味があって、特に日本には興味深々ですね!同世代の友達は日本に行ったことが

考にしていると聞いたことがありますか、その点いかがでしょうか?

一般論から話をすると、コンセルヴァトワールで学んでいるってこともあって、僕のダンスはかなり伝統的な部類に入ります。もちろん先生のMamie Louise(マミー・ルイーズ(本名: Louise Kiputere(ルイーズ・キミテテ)))の影響もあると思いますし、彼女から伝統を継承していくことの大切さを学び、それを基本として、自分の中で自分のダンスを発展・モダン化させていっています。モダン化といっても、ヒップホップを取り入れているとか同じようにするってのは不可能だと思います。タヒチ人が生まれた表現や、美的感覚は決して真似できないし、反対にタヒチ人が日本舞蹈を100年練習しても、1年しか日本舞蹈を練習したことない日本人には表現では勝てないと想うんです。それは、きっとタヒチアンダンスに関して同じこと。ただ、パワーとか技術とかに着目すれば、タヒチ人のレベルを超えている日本人はたくさんいます。日本人の技術は間違いなく高いと思うし、何よりもタヒチ人はそういう日本人の姿を見て、自分たちのダンスや文化が外国人によって実践されているってことに誇りを感じていると思っています。

ある友達も皆僕に「どうだった?」って聞くと、想像していた通りの世界が広がってた!って言っていたりや映画を見た、オンラインでそこの中に広がる世界を実際に自分で見て感じて吸収していくたいと思います。

—日本人のダンサーに関してはどう思いますか?タヒチ人との違いはなんでしょうか?

正直、日本人にはタヒチ人を上回っている日本人は結構いると思います。Favapuをすごく上手にできる日本人を見たこともあります。ただタヒチ人と同じようにするってのは不可能だと思います。タヒチ人が生まれた表現や、美的感覚は決して真似できないし、反対にタヒチ人が日本舞蹈を100年練習しても、1年しか日本舞蹈を練習したことない日本人には表現では勝てないと想うんです。それは、きっとタヒチアンダンスに関して同じこと。ただ、パワーとか技術とかに着目すれば、タヒチ人のレベルを超えている日本人はたくさんいます。日本人の技術は間違いなく高いと思うし、何よりもタヒチ人はそういう日本人の姿を見て、自分たちのダンスや文化が外国人によって実践されているってことに誇りを感じていると思っています。

Turnata ROBINSON
ツマタ・ロビンソン
&
Manouche LEHARTEL
マヌーシュ・ルアルテル

Ori Tahiti Nui Solo Competition2012

(場所: ルメリディアンタヒチ)

2012年5月にツマタ・ロビンソン、マヌーシュ・ルアルテルの両名により設立されたオリ・タヒチ・ヌイ協会によって実現された初めてのソロコンペティション大会。「この時期に開催することで、Heiva I TAHITIのときよりも色々な方が参加しやすく、大会も見ることができ、夏のHeiva I TAHITI、冬のSolo Competitionといった形で差別化出来ると思ったからです!」とマヌーシュさん。

初めての試みという事で、開催決定や募集時期が直前になってしまったのに関わらず、当初80名の参加予想見込みが、最終的に207名の参加に至り、さらには海外からも30名以上のソロダンサーが集結した。また、招待された5人の審査員の顔ぶれも豪華であり、Heiva I TAHITI2011最優秀女性ダンサーのモエナをはじめ、Heiva I TAHITI2012最優秀男性ダンサーのトゥアリイなど誰もが知っているような審査員が顔を揃えた。

そもそもオリ・タヒチ・ヌイ協会の目的は、タヒチやポリネシアの様々な形態の文化、中でもダンス(オリ・タヒチ)、音楽、及び手芸の保存、発展に尽力し、ポリネシア地域そして全世界への発信、普及に寄与することであり、結果的に本目的が Solo Competitionを通して果たせている結果となり、設立者両名共に意義のある大会となった。そんな設立者両名に大会後インタビューを行った。



Turnata ROBINSON



Manouche LEHARTEL

Toa Vahine (16歳～20歳)といったように、年代ごとにカテゴリーが分けられ、午前は子供の部、午後は大人の部という2部構成で大会は進行。会場は満員で立ち見が出る程の盛況ぶりで、タヒチオラのミュージシャンが奏でる音に合わせ、同時にダンサーが踊りアピールする姿に会場が興奮して酔いしつけられていた。

参加者が207名と当初予定より大幅増の参加数だったため、大人の部は午後に予選、夕方から最終審査という形で進み、各カテゴリーの優勝者には優勝賞品と総合優勝を決める夜の部への参加資格が与えられた。

「大会を振り返って率直にいかがでした?」

《ツマタ》

全体的にレベルが高かったなと思います。優勝者や上位入賞者は本当に上手ですね。ただ、全員に言えるのが、表現や表情はもっともっと深みを出

すことが出来るということ。是非次回はその点に意識をおいて演技に取り組んでもらいたいです。また、今までタヒチアンが外国人のダンスをみるとあまりなかったので、今回のソロコンペティションで刺激にもなり、面白かった部分もあると思います。

《マヌーシュ》

印象で踊ることが今までになかったので今回実現したことがまず良かったです。充分レベルは高かったです。今後もっと高くなっていくはずですし、それとともに海外からの参加者も多いのでタヒチアンダンスの奥深さを感じます。これはツマタ、マヌーシュの中では早くも第2回の構想が出来上がっており、2013年11月30日(土)、12月1日(日)に第2回 Ori Tahiti Nui Solo Competition

2013が同じくルメリディアンタヒチで開催されることが決まっている。

負なので見ている観客もとても楽しめたと思います。参加された日本人ダンサーも技術はとても高かったです。改善点を言うのであれば、柔らかさと自然なスマイル、そしてナチュラルメイクを意識してやってもらえばよりタヒチアンダンスの深みが出ると思います。

夜の部では審査員をしたモエナ、トゥアリイも踊り、ゲストとしてHeiva I TAHITI2012最優秀女性ダンサーのパトリシアもパフォーマンスを行った。各カテゴリーで優勝したダンサーは観客を魅了し、大会は大いに盛り上がり終了した。

ツマタ、マヌーシュの中では早くも第2回の構想が出来上がっており、2013年11月30日(土)、12月1日(日)に第2回 Ori Tahiti Nui Solo Competition



【子供の部】

Alii Tamahine (6才～8才)

- 1 - Hirinaki Waau Li (Ecole Heirani)
- 2 - Melissa Guavaria (Alina Hula Dance Studio)
- 3 - Tehui Ewani (Ecole Tahiti Ora)

Alii Tamarea (8才～10才)

- 1 - Pihaki Gueker - Huk (Ecole Heirani)
- 2 - Hale'iwa Tahaa (Ecole Vairuna)
- 3 - Nahena Nena (Individuel)

Tamaiti Tamahine (9才～11才)

- 1 - Mana Yoshida (No Te Here i te Ori Tahiti)
- 2 - Yume Onodera (No Te Here i te Ori Tahiti)
- 3 - Kalani Li Chao (Ecole Tamariki Poerani)

Tamaiti Tamarea (9才～11才)

- 1 - Elijah Tiguelo (Aloha Hula Dance Studio)
- 2 - Vainut Delorme (Ecole Aratoa)
- 3 - Keanu Guilmore (Ecole Vairuna)

Tauro'a Tamahine (12才～15才)

- 1 - Natalia Louyat (Ecole Tamariki Poerani)
- 2 - Hanaiti Taumihau (Ecole Rainearii)
- 3 - Oceane Ehrhardt (Ecole Rainearii)

【大人の部】

Toa Vahine (16才～20才)

- 1 - Tauhere Sanford (Ecole Aratoa)
- 2 - Vairani Tekehui (Ecole Heiragi)
- 3 - Marielle Le Curieux (Ecole Rainearii)

Toa Tane (20才～25才)

- 1 - Moana Marie (Ecole Tamariki Poerani)
- 2 - Terii Hiotoo (Individuel)
- 3 - Valerina Laurent (Ecole Tamariki Poerani)

Tupuna Vahine (46才以上)

- 1 - Pamela Salmon (Ecole Rainearii)
- 2 - Rika Matsuno (Noa Noa Ori Tahiti)
- 3 - Pascale Raoulx (Ecole Rainearii)

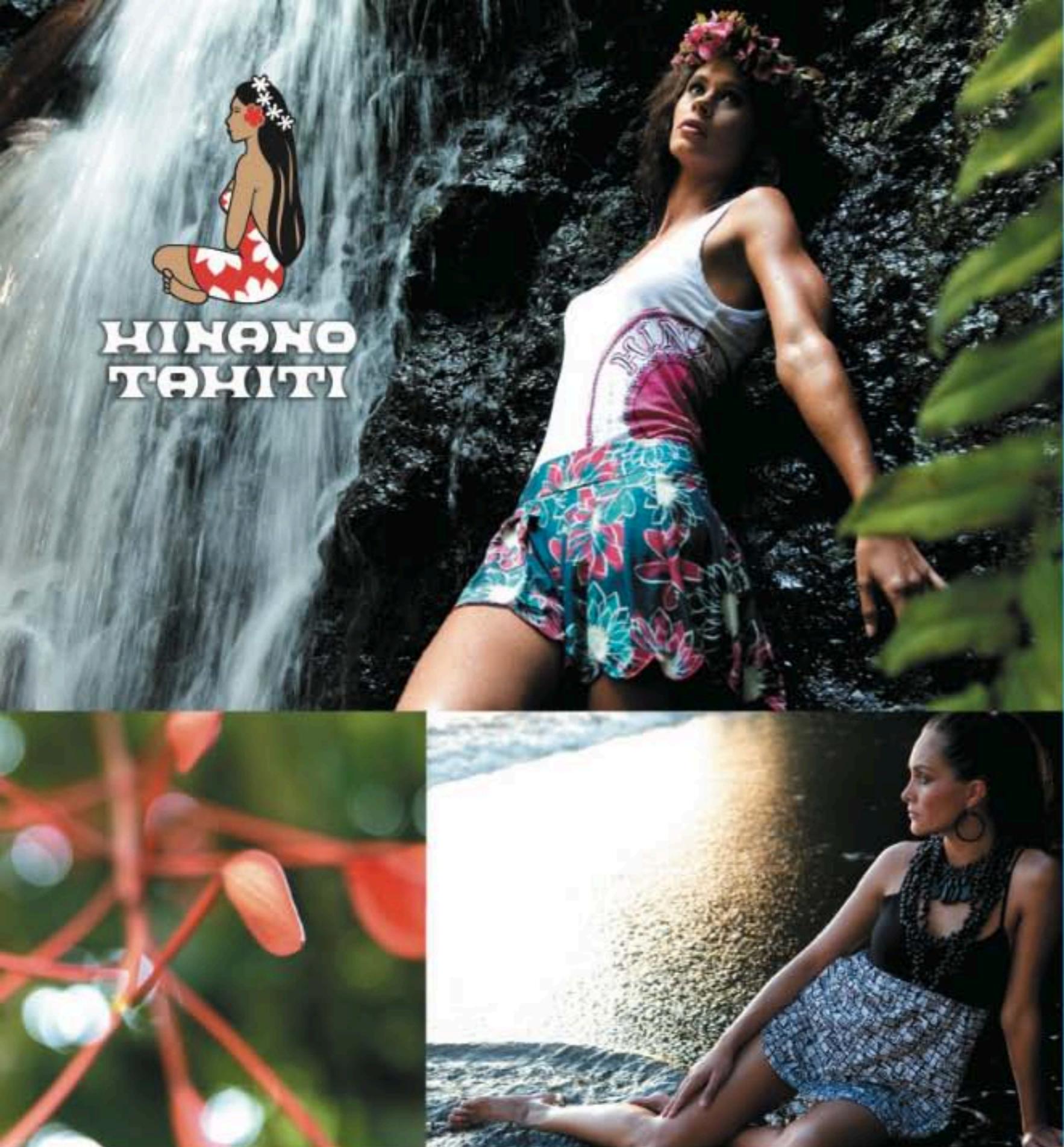
Shanna Pineda
(Te Pura O Te Rahur'a)

総合優勝
《女性》
ダンサー



総合優勝
《男性》
ダンサー

Relaiii Teihotu
(Ecole Tamariki Poerani)



HINANO
TAHITI

“ヒナノタヒチ”は全国のフラハワイ・フラレファアにてお買い求めいただけます。

フラハワイ 検索

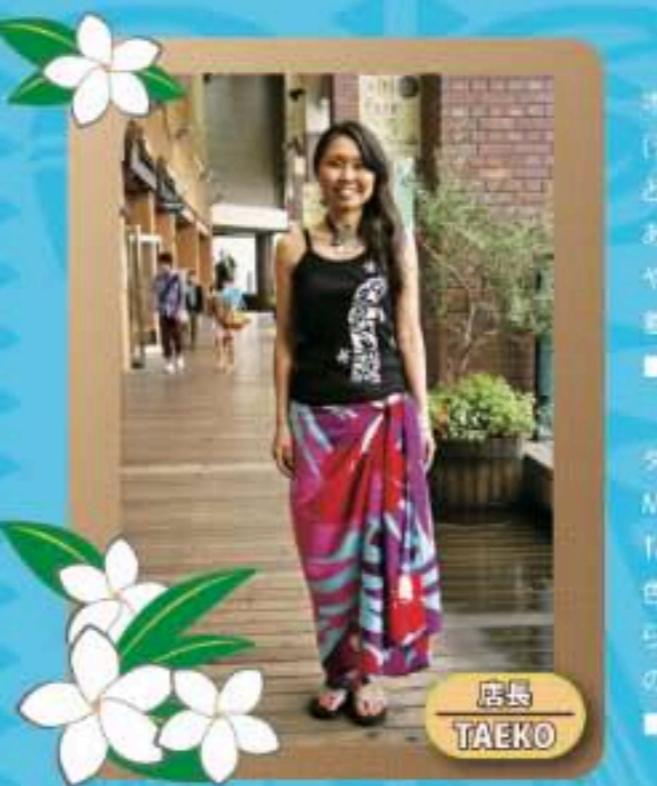
PCサイト
www.rakuten.ne.jp/gold/hulahawaii/

www.hulahawaii.co.jp



情熱的でロマンチックなタヒチアンダンスのアイテム

FETIA-TAHITI



オリジナルキャミソール
(ティアラ柄)はサイズ、柄など多数ご用意♪
あらゆるパフォーマンスにも合わせやすいのぜひこの機会に!
おススメです!

■2,625円(税込)

タヒチで人気のデザイナー
Micoさんが手掛ける「Mico
TAHITI」。

色鮮やかなデザインと可愛
らしさで日本の方にも人気
の商品です。

■5,250円(税込)

← シャーリングで
FreeSizeのワンピース!
人気のMicoパレオを
FETIA-TAHITIオリジナル
で仕上げました!

■9,975円(税込)

→ 着やすく可愛い
「チニックワンピース」
夏でも冬でもこれ一枚
持っているとバリエーションも豊か!

■2,625円(税込)



フラビクシー 検索



FETIA TAHITI はフラビクシーのブランド名です。

FETIA TAHITI
横浜ワールドポーターズ店

TEL: 045-222-2272
住所: 横浜市中区新港2丁目2番地1号
横浜ワールドポーターズ2F デッキストリート
みなとみらい線「みなとみらい」駅
または「萬代通」から徒歩5分

フラビクシー新横浜
プリンスベベ店

TEL: 045-471-7578
住所: 横浜市港北区新横浜3-4
新横浜プリンスベベ3F Hula-pixy
※JR 東海道新幹線又は横浜線並びに市営
地下鉄「新横浜」駅 徒歩2分



Polynesiaの伝統文化“TATAU”との出会い

馬車道通りのタトゥースタジオ

Tiare Yokohama

-ティアレ ヨコハマ-

女性アーティストによるオリジナルデザインを作成します
初めての方でも安心なサポートシステム
衛生完備・ディスポーザブルの実践スタジオです
お気軽にお問い合わせください



お問い合わせ



Tattoo Studio Tiare Yokohama お問い合わせ先

横浜市中区馬車道通り

080-6786-5511

studio_tiare@yahoo.co.jp

<http://tiare.is-mine.net/>



Tattoo studio『Tiare Yokohama』は馬車道ジェンヌご用達の『馬車道空間』とコラボしています。

2013年6月 日本語版販売決定

「Heiva I TAHITI 2012」

仮領ポリネシア最大の祭り「Heiva I TAHITI」

あの感動を日本語版で余すところなく感じてください。



© Matareva Photo

2012年のHeiva I TAHITI(ヘイヴァイタヒチ)を特集した週刊的な雑誌の日本語版。

毎年7月に開催されるフランス領ポリネシア最大の祭り「Heiva I TAHITI」。2012年の祭典を余すところなく美しい写真と見やすいレイアウトで迫力と感動のステージを感じてもらえる全246ページの大変濃い内容になっています。入賞結果や、テーマ、演目全ての衣装も掲載されているので要チェック!!



Heiva
TAHITI
2012
日本語版

TAHITI PROMOTION MATAreva

お問い合わせ／お問い合わせは:(株)タヒチプロモーション ☎045-321-0693 <http://tahiti.co.jp>

タヒチプロモーション 株式会社



タヒチの養殖真珠の魅力

色合いはポリネシアの環境の明るいラグーンに輝き、丸い形は女性のフォルムの様な官能美を表しています。南の海から生まれたタヒチの養殖真珠は可憐性を尽くした様々な色、形、ニュアンスを作り出します。

純粋さとエレガンスさのシンボルとしての魅力に満ちており、時としてその選択に迷ってしまうこともあります。そんな時は必ず心に任せるしかありません。それでも、まだ悩むようでしたら選択の基準もあります。大きさ、形、表面の滑らかさ、輝きや色、きっとお好みの真珠が見つかることでしょう。

色

普段、黒真珠と呼ばれるタヒチのパールは様々な色を表します。自然のままの世界ではこのパールはさくらんぼ、クリーム、ピーナッツ、グリーン、ブルー、グレー、白などの際限ないニュアンスで現れます。「十人十色」、ご自分のお好みでどうぞ。

形

タヒチのパールは様々な形を表し、大きく5つのカテゴリーに種別されます。真珠、半球状、橢円形、ボタン、ドロップ、サークル、セミバロックとバロック。もちろん真珠状のものは昔から人気ですが、最近のトレンドでは自然なオリジナルな形を生かして、ユニークな宝石を作るアーティストが増えています。

表面の滑らかさ

肉眼でもタヒチパールの表面の質が分かります。天然のものですから、たまに表面に少し傷が見えることもあります。

5つのカテゴリー

- トップクラス パーフェクトな質で傷がありません。
- カテゴリーA 稍ど見えないわずかな傷
- カテゴリーB 軽い傷
- カテゴリーC 表面の3分の2以下に傷があります
- カテゴリーD 割と傷が多いです

大きさ

一般的にタヒチのパールは8ミリから14ミリの間のサイズです。まれに、18ミリ以上もあるパールもありますが、これは大変珍しい事です。

輝き

輝きは艶や光沢で決められます。艶や輝きはパールの表面でどれくらいの光を反射するかどうかによって測られます。綺麗な輝きですと、鏡のように光を完全に反射します。逆にあまり光が反射しないパールの輝きは弱いとされています。光沢は真珠層の中でどの位虹色になるかどうかが計測されます。綺麗な光沢ですとシャボン玉のような虹色が見られます。

真珠の価値

一般的に大きければ大きいほど、丸ければ丸いほど価値が上がります。しかし例外はたくさんあります。大きくて傷のある真珠は真ん丸い傷のない小さな真珠より安く、タヒチパールの特徴的な色や輝きも基準になります。

手入れ

母貝から生まれたタヒチの養殖真珠は優しくケアしなければなりません。肌につけると水分を吸収する宝石ですので、身に着けることが一番いいのです。天敵は塩素を含む水、香水、ヘアスプレー、酸を含んだ物質です。柔らかい布で定期的に拭くことをお忘れなく。

